

## 北朝鮮による拉致問題の早期解決について

北信越部会提出

北朝鮮による拉致問題については、政府公認の拉致被害者17名のうち、既に帰国された5名を除く12名が安否不明の状況であり、このほか特定失踪者、拉致の可能性を排除できない事案に係る方々が多数おられます。

新潟県では、北朝鮮による拉致被害者5名のうち、横田めぐみさんと曾我ミヨシさんが、いまだ帰国を果たせず、また、県内には拉致の疑いのある特定失踪者の方が6名おり、現在も安否が分からぬままとなっています。

拉致問題の解決に向けた進展が見られない中で、既に長い歳月が経過しています。横田めぐみさんの父・滋さんに続き、令和3年12月に家族会前代表、田口八重子さんの兄・飯塚繁雄さんが、家族との再会を果たせぬまま他界されました。被害者自身やその家族の高齢化は深刻であり、もはや一刻の猶予もない状況に置かれています。

拉致被害者及び特定失踪者家族の痛切な思いを共有し、今後とも拉致問題を「最優先、最重要課題」と位置づけ、国際社会と連携を強化し、国を挙げて次の事項を早急に実現されるよう、強く要望します。

### 記

北朝鮮による拉致被害者及び特定失踪者全員の早期帰国並びにこの拉致問題の真相の究明に向け、国際情勢に鑑みて、時機を逸することなく、国を挙げて全力で取り組むこと。